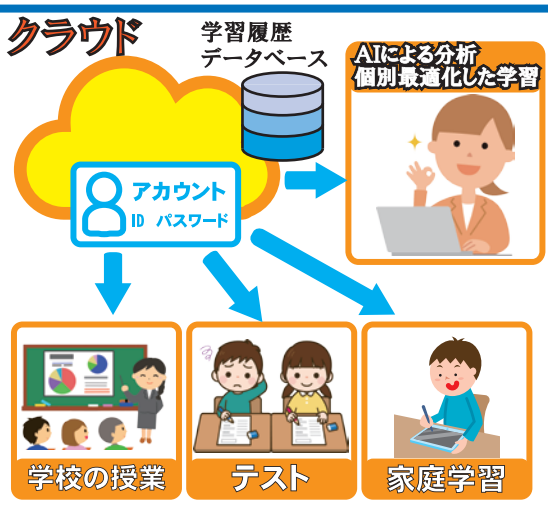
一人一台タブレット時代の教育2

GIGAスクール構想 埼玉県教が遅れの原因

教育のICT化であるGIGA（ギガ）スクール構想では、コロナ禍でオンライン学習の必要性から、今年度で一人一台のタブレットが整備されます。しかし、本来、GIGAスクール構想を支える埼玉県の「個別最適化した学び」の取組みは、行き詰まっています。

この「個別最適化した学び」とは、児童生徒の学習端末から学習記録をクラウド上に保存・分析し、一人ひとりの学習状況に応じた個別学習の実現です。そのため、一人ひとりの学習記録の蓄積が大切です。



埼玉県が遅れている根本原因は、膨大になる学習データや個人認識用のアカウントの運用を、埼玉県は県で行うか各市町村で行うか方針を決めかねていることにあります。この構想の運用は市町村ということですが、規模の小さい自治体では運用が難しいのです。子供の学習をサポートするために、最低でも小中高一貫した運用や転校などの引継ぎを考えたら、埼玉県で運用をすべきことは明白です。

奈良県では、大学までの運用 私学まで検討

奈良県では、小中高から大学までの学習記録を取る方針で、現在私学まで拡げるか検討しています。ところが埼玉県は、コロナ対策として小中学校で令和4年3月までの限定的な運用です。

埼玉県のこのような状況を見かねて、久喜市教育委員会は独自に小中学校での運用を決めました。

一人ひとりの子供の能力や適性を伸ばすため、教育のデジタル化が求められ、久喜市教育委員会は着実に進もうとしています。しかし、財政規模も取組状況も違う県内の市町村では取組も様々で、埼玉県が主導しないとGIGAスクール構想への取組が遅れないかと懸念しています。

長雨と猛暑で枯れる ラベンダーを植え替えへ

色が変色し枯れたラベンダー（菖蒲総合支所前）

7月の長雨と8月の猛暑の影響で、圃場のラベンダーが枯れる被害が出ています。これは、根腐れや病気が発生し、一部の株が枯れてしまいました。病気になった株は薬剤の散布、根腐れした株は、10月以降順次植え替えをします。

ラベンダーの原産は地中海などで、高温多湿に弱い植物です。長年の生育で久喜市の気候に耐えられる株が残ってきました。多湿にならないように、雑草を除去するなど適切な管理が必要です。

新型コロナウイルス感染症拡大により、第26回あやめ・ラベンダーのブルーフェスティバルは中止されました。対策の一環として、久喜市はあやめ・ラベンダーを開花前に剪定しました。来年には、来場者に楽しんでいただけるよう、適切な管理をお願いしました。また、ボランティア団体 あやめ・ラベンダーの里を育てる会などを通じて、私たちも協力していきます。

また、ブルーフェスティバル会場から菖蒲城趾あやめ園までを結ぶ遊歩道には、昨年10月にアジサイ50本が植栽され、また令和3年3月にアジサイ50本の植栽を予定しています。環境に適した風に強い品種を選んで植栽します。

動画サイト ユーチューブで 随時 市政報告を配信

動画サイト ユーチューブで市政報告や久喜市の情報を動画配信しています。11月現在で50本以上の動画があります。「平沢健一郎」で検索してください。

平沢健一郎

○プロフィール
誕生日　昭和47年7月25日
趣味　地域活動　ゴルフ
水泳
特技　剣道４段
篠笛演奏

○経歴
菖蒲中学校-不動岡高校-神奈川大学
自由民主党久喜支部　副支部長
しょうぶっ子ゆうゆうプラザ　実施委員長
ブルーフェスティバル実行委員会　副実行委員長
久喜市消防団　ローズバーグ　阿波踊りくき連